

患者さん中心の透析医療を追い求めて。

ONE!

Kokuradaichi hospital



ONE!
019

2024年11月16日

車の乗降移動支援事業をはじめました

小倉第一病院 思い出の一丁目一番地

私のONE!



勝山自動車株式会社 勝山タクシー

上野さん

ドライバー歴：7ヶ月

好きなもの・趣味:好きなものは猫です。
趣味はライブに行くことで、いろんなアーティストのライブに行っています。最近ではYOASOBIさんのライブに行きました。

数ヶ月前、勝山タクシーで社内研修を受け、ドライバーデビューを果たしました。

研修では、地元の交通ルールや抜け道の情報などを学び、普段は一般のお客さんを乗せることも多いです。日々の業務では、酔っぱらったお客さんが車内で楽しそうに歌ったり、迷子になったおばあちゃんと一緒に道を探したりと、毎日が新鮮で、楽しみながら働いています。同じ頃、小倉第一病院でフェニックス送迎の担当も始めました。初期研修のおかげで、大きな困りごとに直面することはほとんどありませんが、フェニックス送迎を利用される方は、一般のお客さんよりもお手伝いが必要なケースが多いため、サポートには常に緊張感があります。それでも、患者さんたちは皆さんとても優しく、ときには私のお昼ごはんの心配までしてくださることも。そんな中で、一つだけ心がけていることがあります。それは、初めて感じたあの緊張感を「忘れない」ことです。患者さんと親しくなっても、お手伝いに慣れすぎず、いつでも丁寧に対応できるように努めています。



医療法人真鶴会 小倉第一病院

〒803-0846 福岡県北九州市小倉北区下道津1丁目12-14
TEL:093-582-7730 FAX:093-592-7689

【今回の特集】介護研修を受けた勝山タクシードライバーが、『自宅玄関から乗車まで』と『小倉第一病院玄関から透析ベッドまで』の往復区間を横に付いてサポート(移動支援)を行うことができるようになりました。

◎表紙イラストレーター／大津萌乃

発行／小倉第一病院

SUPPORT START

車の乗降移動 支援事業をはじめました



タクシードライバーが小倉第一病院で介護研修を受けている様子



車の乗降移動支援フェニックス

入退院・受診時の移動支援も実施中。

詳しくはこちらから。



現在、北九州を含め全国的な透析患者の介護タクシー不足が社会問題となっていることをご存知でしょうか？この原因の大きな一つは、杖歩行等が可能な軽介助者でも、転倒リスクが発生した場合は、介護タクシーを利用して現在の状況にあります。透析は命に関わる治療ですが、この問題を解決しない限り、病院へ通えない透析患者が今後続発する可能性があります。

現在、小倉第一病院は透析患者無料送迎サービスとして、勝山タクシーとの業務提携を行っていますが、こちらは通常タクシーと同じく、自宅前から小倉第一病院玄関前までの送迎となっているため、転倒リスクの無い完全自立の患者さんのみ対応となっています。

段々と足腰が弱り、転倒リスクが高まる患者さんが増えていくことは自然の流れです。今までは、まだ歩行可能な患者も転倒リスクが高まるとすぐに介護タクシーに移行していましたが、支援事業立ち上げにより介護研修を受けた勝山タクシードライバーが、『自宅玄関から乗車まで』『小倉第一病院玄関から透析ベッドまでの往復区間を横に付いてサポート（移動支援）を行うことができるようになりました。

こちらは有料サービスとなりますが、タクシーメーター料金は、小倉第一病院の無料送迎サービスのため、移動支援費のみの負担となります。介護タクシーよりも安い料金で、安全に当院での外来透析通院を継続することが可能です。

今までは『自立介護タクシー』だったのが、『自立移動支援介護タクシー』という流れが、小倉第一病院では新たに生まれました。

当サービスは院内起業した「車の乗降移動支援フェニックス」という事業を通して行っています。